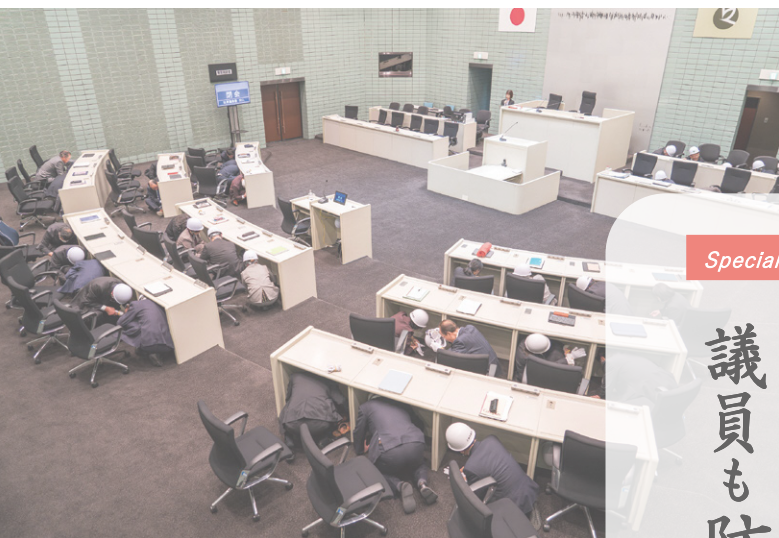


上越市議会だより

じょうえつ市議会だより

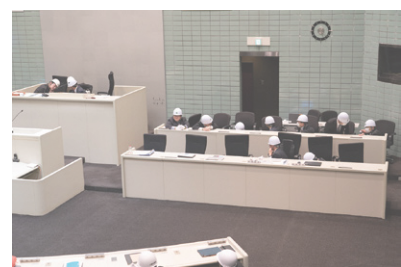


Special Feature

本会議中の大地震を想定
避難訓練を実施

議員も防災意識を高めま

…2ページ



Topic_01

市民×議員
意見交換会を開催

… 3 ページ

Topic_02

補正予算等を審議
12月定例会

… 4 ページ

Topic_03

市民と議会をつなぐ
広報広聴委員会の活動

…19ページ



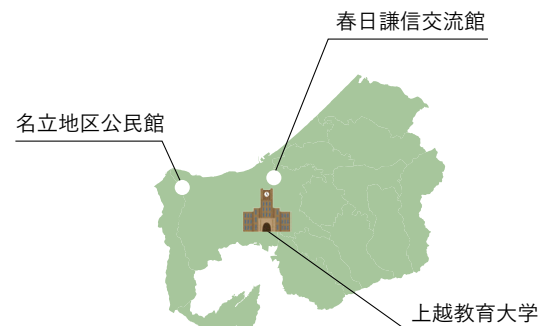
上越市議会
ホームページ

市民×議員

Opinion Exchange Meeting

ご意見を聴く会&議員と気軽にトーク

11月5日・7日にご意見を聴く会を、11月6日に議員と気軽にトークを開催し、35名の方から参加いただきました。今回の議員と気軽にトークは上越教育大学で開催し、大学生からも参加いただいて、市民と議員で活発な意見交換を繰り広げました。



- 市政について
たくさんご意見をいただきました
市がもっとこうなるといいんじゃないかという思いを聞かせてください。
- 産後ケアチケットの枚数を増やしてほしい。また、子どもが1歳以降も使いたい。
- 0〜2歳の保育料が高い。
- 4月から職場復帰しないといけないので、3月から慣らし保育をできるようにしてほしい。
- 人口減少対策のため、企業誘致に力を入れてほしい。また、上越市で起業する人を増やすべきだ。
- 地域独自の予算が減額され、これまでのように活動ができない。
- 除雪のために何億円もかけるくらいなら、コンパクトシティを目指すべきだ。
- 観光より市民の生活を大切にしてほしい。
- 教員の仕事量と給料が見合っていない。

- 予算の使い道は、高齢者より子どもや教育を優先してほしい。
 - 上越市に戻ってこなくても奨学金が返還不要にならないか。
 - 津波が来てもすぐに逃げる場所がないので、避難タワーを造ってほしい。
 - 名立区は大規模地震が起けると孤立してしまう。
 - 議員の定数を32人から28人に減らすべきだ。
- 皆さんからいただいた意見
市政にいかします！
- いただいた意見を3つに分類して
対応していきます。
- 1 委員会等で対応する
 - 2 行政に伝える
 - 3 全議員に伝える
- いただいた意見全部と
それぞれの対応方針は
ここから見られます！

櫻庭広報広聴副委員長



議場で避難訓練

本会議中に震度6強の地震が発生したことを想定して、令和6年12月16日に避難訓練を実施しました。議場で避難訓練するのは今回が初めてです。市長等と共に、いざというときの行動を確認しました。



訓練！訓練！地震による火災発生！



議場から避難

議員や市長等の席にはヘルメットと軍手が常備されており、それらを着用して避難しました。



議員防災士の消火訓練

防災士議員連盟による初期消火の訓練を行い、消火器の配置場所や使用方法を確認しました。

【訓練】
震度6強の地震が発生しました。
各議員の安否状況等を確認します。
次のURLから返信してください。

<https://works.do/587lMEt>

大規模災害時の安否確認
Period: ~12.26(Thu) 09:30
works.do/587lMEt



議員の安否確認訓練

議員の安否確認をスムーズに行うため、3か月に1度、スマートフォンを使って訓練をしています。

渡邊議長にインタビュー！

今回議会としては初めての訓練ということですが、どのようなねらいがありましたか？

本会議中に災害が起きたときの初動対応を確認するためです。実は、議員には訓練の内容をあえて詳しく伝えませんでした。いざというときは、突然来ますからね。

訓練の結果はどうでしたか？

議事の中断の流れや身の安全確保の手順などを確認し、議員一人ひとりが防災意識を高めることができたと思います。今後も初動対応能力の向上に努めてまいります。



02
旧上越観光物産センター

旧上越観光物産センターが、上越市から新潟県けんこう財団に譲渡され、健康診断・人間ドックの受診施設として使われる予定です。

- 令和7年中に施設を改修予定
- 令和8年1月から事業開始予定

■ 議員のQ&市のA ■

Q 敷地売却価格 3,300 万円の算出方法は？

A 土地評価額から、建物解体撤去費 3 億 4,208 万円を控除して決めた。

Q 建物解体撤去費は妥当なのか。

A 直径 40cm、深さ 30m の基礎杭が 174 本埋まっているため、高額になっている。



旧観光物産センターが、健康診断・人間ドック受診施設に！



議員の Q & 市の A
総括・委員会質疑
議会は議案等のココに注目！

01
下水道事業の所管がガス水道局に

下水道事業が、市長部局からガス水道局に移管されます。ガス水道事業を担っているガス水道局が、下水道事業を所管することで、窓口や事務が一元化され、市民サービスの向上や業務の効率化が図られるとしています。

■ 議員のQ&市のA ■

Q 移管は下水道事業を民営化する第一歩なのか？

A 民営化は考えていない。

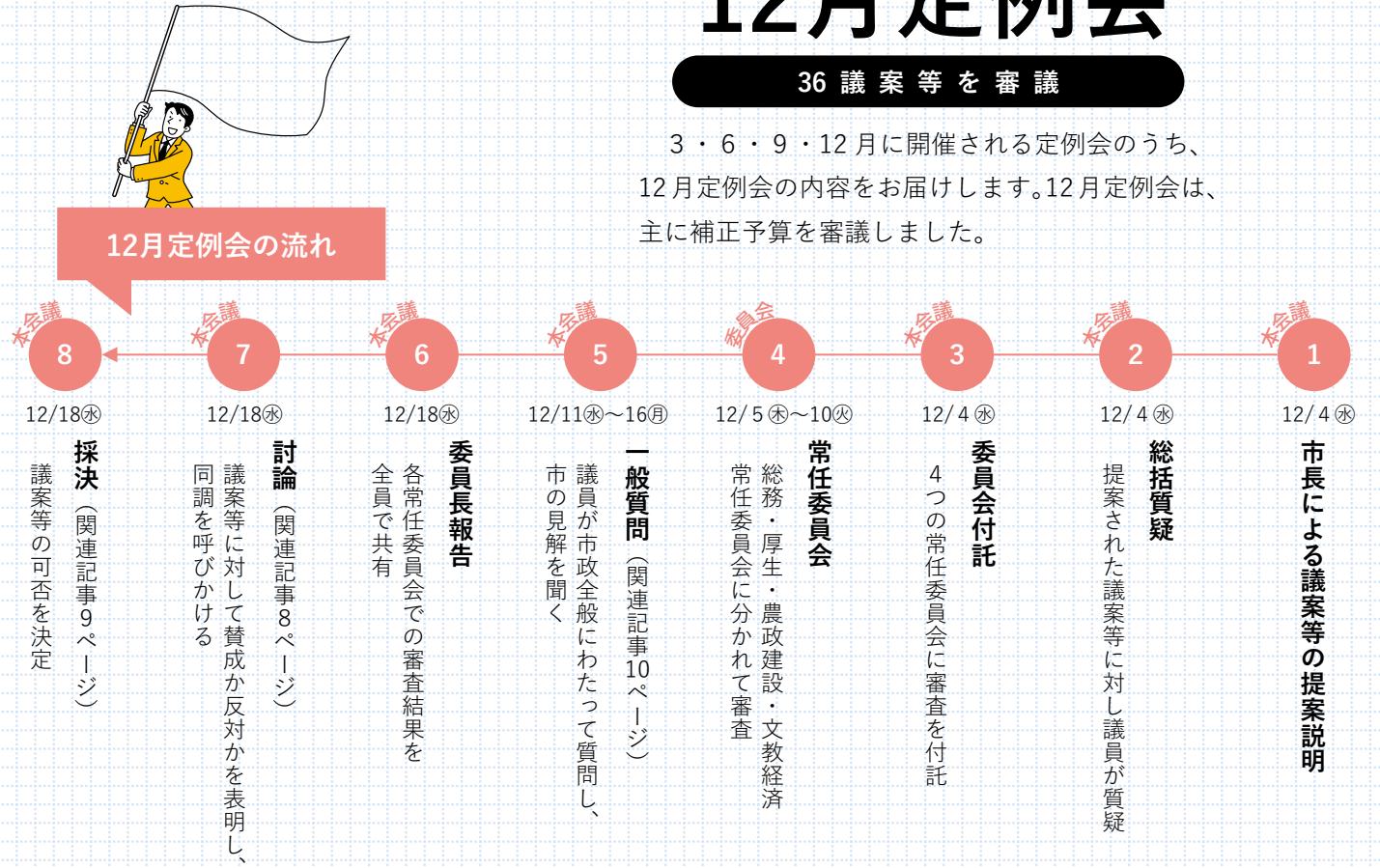


令和6年度の補正予算などを審議する

12月定例会

36 議案等を審議

3・6・9・12月に開催される定例会のうち、12月定例会の内容をお届けします。12月定例会は、主に補正予算を審議しました。



03
観桜会・謙信公祭 100 回記念事業

令和7年に高田城址公園観桜会と謙信公祭が第100回を迎えます。それらの記念事業の準備経費を増額する補正予算が提案されました。

■ 議員のQ&市のA ■

Q 謙信公祭ゲスト招へい委託料 320 万円の具体的な内容は？

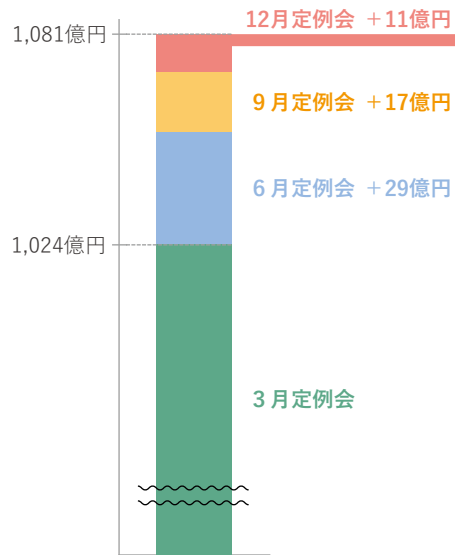
A ゲスト出演交渉、ポスター撮影等の事前準備、ゲスト出演料などである。

Q ゲスト招へいを常態化する考えなのか。

A 主催する実行委員会は、その都度招へいの有無を検討するとしている。



令和6年度一般会計予算の推移



補正予算の主な項目

国県支出金等の還付額の不足分	7 億 1,354 万円
物価高騰による給食食材費の不足分	8,962 万円
能登半島地震被災家屋等の解体等支援	3,140 万円
小学校 車椅子対応大規模改造	2,235 万円
観桜会・謙信公祭第100回記念事業準備経費	1,053 万円

〳〳〳〳〳
補正予算って何？



当初予算

年度が始まる前の3月定例会で決まった、翌年度の予算のこと。

補正予算

当初予算が決まった後に、何らかの理由で増額・減額したいときに組まれる予算のこと。

補正予算
条例など

観桜会・謙信公祭第100回記念事業の準備のための経費等36議案等を審議

学校に行きづらい、学校に行くことができない生徒の実態に配慮した特別的教育課程を提供し、当該生徒の学びの環境を整えるため、市では新たに学びの多様化学校を設置するとしています。

- 対象は中学生、1学年6～8人程度
- 閉校する諏訪小学校を活用する
- 雄志中学校の分校とする
- 令和8年4月から生徒受入開始

■ 議員のQ&市のA ■

Q 設置場所を諏訪小学校とした理由は？

A 閉校した学校の中で比較的新しく、市域全体から通学しやすいためである。



令和7年3月に閉校する諏訪小学校



令和5年4月に施行したこども基本法の中で、市町村は、こども計画の策定に努めることとされました。当市では、子ども・子育て支援総合計画の計画期間終了に合わせ、こども・若者、子育て施策の総合的な指針として、こども計画が策定されます。

- 基本理念：みんなで育むこどもの笑顔・輝く未来
- 計画期間：令和7～11年度（5年間）

■ 議員のQ&市のA ■

Q 子育て家庭の経済的負担の軽減は、すべての家庭を対象とすべきでは？

A 子育て家庭全般に対する支援については、児童手当拡充等で対応する。

- 議員／基本施策の子育て家庭の経済負担の軽減について、困窮層等に焦点が絞られているが、子育てをするすべての家庭を支援すべきではないか。
- こども・子育て部／アンケートや聞き取りの中で困窮層への支援の要望が多い。今後も継続して、適切な支援内容を検討していく。

12月定例会では9件の調査を行いました。調査を今後も継続するものと、今回で終了したものがあります。

総務	地方創生の取組状況について	継続
	上越市犯罪被害者等支援条例（案）について	終了
	令和6年能登半島地震 津波災害対応の検証について	終了
厚生	上越市こども計画（案）の策定について	終了
	上越地域医療センター病院基本計画の見直しについて	終了
	上越市一般廃棄物処理基本計画の策定について	終了
農政建設	上越市道路整備計画の策定について	終了
	上越市消融雪施設整備計画の策定について	終了
文教経済	学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）の設置等の検討について	継続



所管事務調査ってなんですか？
常任委員会が市の事務に関する調査を行うことです。

能登半島地震の検証結果と今後の取組について報告を受けました。

■ 議員のQ&市のA ■

Q 今回の災害を踏まえた地域防災計画の見直しスケジュールは？

A 令和7年3月に県の計画が改定されるので、市の計画は令和7年度中に見直す。



津波の被害を受けた郷津海岸



国道8号茶屋ヶ原地先の土砂崩落現場

老朽化した上越地域医療センター病院を令和11年度末までに建て替えるとしていましたが、センター病院の経営見通しや地域医療構想に係る議論の動向などを総合的に勘案し、2年先送りすることとされました。

■ 議員のQ&市のA ■

Q なぜ延期の判断がこの時期になったのか？

A 予算編成等の過程で、人件費等の高騰が著しく改築に投資できる資金的余裕が見込めないと判断したため。

Q 診療報酬が少ないことが経営悪化の一因なので、国に支援を要望すべきでは？

A 診療報酬の改定を国に要望している。



上越地域医療センター病院

上越市まち・ひと・しごと創生長期ビジョンが改定、第3期総合戦略が策定されます。

- 長期ビジョン（令和7年改訂版）
当市の人口の現状を分析し、目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すもの。
- 第3期総合戦略
当市における「まち・ひと・しごと創生」に向けた目標、取組の方向性、具体的事業及び施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項をとりまとめたもの。

■ 議員のQ&市のA ■

Q 地方創生に取り組む上で市は何を最終目標にしているのか？

A 若者・子育て世代にとって「選ばれるまち」「住み続けたいまち」を実現することである。



審議結果



件名	審議結果	件名	審議結果
議案第114号 令和6年度上越市一般会計補正予算（第6号）	◎	議案第131号 上越市立公民館条例の一部改正について	◎
議案第115号 令和6年度上越市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	◎	議案第132号 上越市体育施設条例の一部改正について	◎
議案第116号 令和6年度上越市診療所特別会計補正予算（第1号）	◎	議案第133号 上越市大島堆肥センター条例の廃止について	◎
議案第117号 令和6年度上越市介護保険特別会計補正予算（第2号）	◎	議案第134号 字の変更について	◎
議案第118号 令和6年度上越市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	◎	議案第135号 市道路線の廃止について	◎
議案第119号 令和6年度上越市病院事業会計補正予算（第2号）	◎	議案第136号 市道路線の認定について	◎
議案第120号 令和6年度上越市下水道事業会計補正予算（第2号）	◎	議案第137号 財産の処分及び無償譲渡について	◎
議案第121号 令和6年度上越市ガス事業会計補正予算（第2号）	◎	議案第138号 財産の無償譲渡について	○
議案第122号 令和6年度上越市水道事業会計補正予算（第2号）	◎	議案第139号 指定管理者の指定について（上越市市民プラザ）	◎
議案第123号 上越市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	◎	議案第140号 指定管理者の指定について（上越文化会館）	◎
議案第124号 職員定数条例の一部改正について	◎	議案第141号 指定管理者の指定について（菱の里）	◎
議案第125号 上越市手数料条例の一部改正について	◎	議案第142号 新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	◎
議案第126号 上越市市税条例等の一部改正について	◎	報告第10号 専決処分した事件の承認について（令和6年度上越市一般会計補正予算（専第2号））	◎
議案第127号 上越市法定外公共物管理条例及び上越市準用河川管理条例の一部改正について	◎	請願第4号 「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働は正に係る意見書の採択を求める請願書	×
議案第128号 上越市空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例の一部改正について	◎	諮問第7～9号 人権擁護委員候補者の推薦について	◎
議案第129号 上越市食料・農業・農村基本条例の一部改正について	◎	発議案第12号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書の提出について	◎
議案第130号 上越市ガス供給条例の一部改正について	◎	発議案第13号 上越地域医療センター病院の早期建設を求める決議について	×

◎：全員賛成で可決 ○：賛成多数で可決 ×：賛成少数で否決

賛否が分かれた議案等、私はいこう判断！

	久比岐野							市民クラブ					つなぐ			みらい			日本共産党 議員団		公明党		無所属				審議結果 (賛成：反対)						
	降旗太地	大島美香	草間和幸	安田佳世	スラッソン恵美子	橋本洋一	飯塚義隆	江口修一	熊倉隆将	山本佳洋	高山ゆう子	小林和孝	こんどう彰治	本城文夫	平原留美	滝澤陽一	関川信之	宮崎朋子	牧井邦生	高橋浩輔	櫻庭節子	石田裕一	平良木哲也	上野公悦	橋爪法一	西沢智子		山田忠晴	伊崎博幸	宮越馨	丸山章	滝沢一成	渡邊隆
議案第138号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	可決 (25：6)
請願第4号	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	不採択 (13：18)	
発議案第13号	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	否決 (15：16)	

市長提出の全議案等に対して

 **平原留美**（つなぐ）
提案された内容は評価するが…

市民の幸福と生活の質向上を目指した事業を評価するが、中川市長の答弁には誤解を招く持論が含まれていた。行政トップとしての考えをしっかりと組織内で共有してから答弁するよう申し添える。

賛成

議案第 138 号に対して

 **橋爪法一**（日本共産党議員団）
「雁木の高田」を守るために

建物を無償譲渡するのではなく、雁木を残すなどの条件をつけた。また、活用方法を市民に公募しておらず、市内部での協議も不足していることから、白紙に戻して、公の施設としての可能性を探るべきである。

反対

 **宮越馨**（無所属）
行政の不作为だ

私が市長のときに、本町活性化のために使ってほしいと譲り受けた。老朽化して危険だと言うなら、なぜ2年間も放置したのか。そのほうが問題である。この施設を公の施設として使わないのは、行政の不作为である。

反対

請願第 4 号に対して

 **上野公悦**（日本共産党議員団）
願意をしっかりと受け止める

未来を担う子どもたちが健やかに育ち学ぶことを第一に考え、教職員は懸命に頑張っている。請願者の願いを汲み取り、関係機関につないでいきたい。

賛成

 **山本佳洋**（市民クラブ）
働き方の改善を！

将来の上越市のリーダーとなる人材を育成するためにも、教育に力を注ぐべきである。そのために、教職員の働き方の改善と教への質の向上を図らなければならない。

賛成

 **石田裕一**（みらい）
地域の声を聞かないと…

地域クラブはほぼボランティアで活動しているところが多い。部活動地域移行を進めることは、地域の負担増になる。教職員側の意見だけでなく、地域の声も聞いて進めなければならない。

反対

発議案第 13 号に対して

 **滝沢一成**（無所属）
2年後の改築は信用できるのか

市長の不手際だ。事後報告ではなく、議会と議論できる機会をつくるべきだった。市長は「2年後の改築を約束する」と発言したが、市長の言葉はいつものとおり、あまりにも軽い。

賛成

 **宮越馨**（無所属）
手を打てなかった市長の責任

病院経営は数年前から悪化していた。手を打てなかった市長の責任である。予算をつけて改築すべきだ。コートを着ないと寒くて廊下を歩けない病院が他にどこにあるのか。

賛成

 **平良木哲也**（日本共産党議員団）
改築、待ったなし！

市長は、病院の老朽化の深刻さをどれだけ把握しているのか。深刻な老朽化は一刻も放置できない。それを知らずにいた市長が、机上で行った改築着手停止の判断と言わざるを得ない。

賛成

 **江口修一**（久比岐野）
リスク軽視は病院経営の破綻に

赤字の見通しが明らかなまま建設を急ぐことは、医療サービスの質の低下や経営破綻を招きかねないことから、現時点での建設決行は現実的ではないと考える。

反対

 **高橋浩輔**（みらい）
甚だしい唐突感是否めない

収支の改善が必須であることなどから、市の判断を支持するが、発表が唐突だったことを反省するとともに、病院スタッフの声を聞き、可能な修繕や整備等は早急に対応するよう申し添える。

反対



討論とは、提案された議案等に対して、議員が賛成か反対かを表明するものです。討論の内容も踏まえて、採決に進みます。

25人の視点

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、25人が登壇し、論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋してご紹介します。



皆さんは、どのテーマに関心がありますか？



● 橋本	中川市政 / 高齢者交通事故防止 / 高齢者孤立防止	} 11 ページ
● 高橋	謙信公周年記念事業	
● 江口	施策間の優先順位	} 12 ページ
● ストラットン	ペットツーリズム / 異世代ホームシェア	
● こんどう	市長公約 / 中学校部活動の地域移行	} 13 ページ
● 飯塚	工業団地整備 / グラウンド・ゴルフ	
● 大島	雁木町家	} 14 ページ
● 石田	越後田舎体験 / 郷人会	
● 熊倉	103 万円の壁	} 15 ページ
● 西沢	5 歳児健診 / 小児インフルエンザワクチン接種助成	
● 山田	林業振興 / 医療的ケア児・者対策	} 16 ページ
● 関川	うみがたり / 保倉川放水路	
● 宮崎	クマ被害対策	} 17 ページ
● 降旗	若者表彰 / こどもプール	
● 山本	改正地方自治法 / 学校給食調理員	} 18 ページ
● 滝沢	带状疱疹ワクチン / 農村公園 / 春日山城跡	
● 安田	結婚・子育て・しごと / 令和7年度予算	} 19 ページ
● 上野	103 万円の壁 / マイナ保険証	
● 本城	ガス事業 / 水道基幹管路の耐震化 / 小中学校敷地の借地料	} 20 ページ
● 丸山	未来創生スペシャルセンター	
● 高山	公共施設のWi-Fi / フリースクール	} 21 ページ
● 伊崎	妙高・斑尾エリアリゾート開発の影響	
● 平良木	柏崎刈羽原発	} 22 ページ
● 橋爪	原子力災害・屋内退避	
● 宮越	新潟労災病院・上越地域医療センター病院 / 中川市長の資質	19 ページ

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



中川市政3年の総括と今後の重点取組は
橋本 洋一（久比岐野）



Q 中川市政3年間の総括を聞きたい。また、今後の重点取組と新年度予算への反映は。

A 暮らしの安全・安心の確保を最優先に取り組んできた。任期4年目は地域医療体制の確保、災害に強いまちづくりなどを優先課題とし、令和7年度予算では財政健全化にも意を用いつつ、必要な投資を行いたい。



謙信公の周年記念事業を意義あるものに！
高橋 浩輔（みらい）



Q 謙信公の没後450年、生誕500年に向けた取組についての見通しは。

A 謙信公の周年は、記念すべき重要な節目と認識している。令和10年の没後450年は「偲ぶもの」、令和12年の生誕500年は「祝うもの」と、2つの節目を「静と動」という性格を異にする一連の周年と捉えつつ、記念事業としては生誕500年を主軸に置いて実施する。実行委員会の立ち上げは令和8年度を視野に入れ、令和7年度にかけて関係者との調整を進める。



通年観光と産業振興、施策の優先順位は？
江口 修一（久比岐野）



Q 通年観光に49億円かけるより、産業振興や企業誘致を優先すべきではないか。

A 現在の通年観光計画は、令和12年度までに具現化を目指す施策の構想を取りまとめたもので、今後の事業化に当たっては、財源と優先順位を勘案して実施を判断する。

高齢者の交通事故防止を

Q 当市の高齢運転者の実態と交通事故防止施策の取組状況はどうか。

A 65歳以上の免許保有者は年々増加し、令和5年末には4万人を超えた。高齢者の交通事故防止は、啓発活動や安全教育などを中心とした取組を推進している。なお、運転免許証の自主返納支援としてタクシー券等を交付していたが、この事業が免許返納のきっかけとなっている例が少なかったことから、廃止したところである。

一人暮らし高齢者の孤立化防止対策は

Q 孤立化の実態と防止対策を聞きたい。

A 一人暮らしの高齢者は、令和6年は1万1,600人を超え、5年間で約1,700人増加した。一人暮らしの高齢者が地域で孤立しないよう、支援が必要な世帯の状況を把握し、確実に見守ることができ体制づくりを進めている。

Q 謙信公の没後450年、生誕500年に向けた取組についての見通しは。

A 謙信公の周年は、記念すべき重要な節目と認識している。令和10年の没後450年は「偲ぶもの」、令和12年の生誕500年は「祝うもの」と、2つの節目を「静と動」という性格を異にする一連の周年と捉えつつ、記念事業としては生誕500年を主軸に置いて実施する。実行委員会の立ち上げは令和8年度を視野に入れ、令和7年度にかけて関係者との調整を進める。

Q 宮城県多賀城市の「多賀城創建1,300年記念事業」の実行委員会は、名誉会長に宮城県知事、副会長に宮城県教育長を迎え、県との連携を明確に打ち出した。参考にしてはどうか。

A 県との連携については、今後更に検討したい。記念事業を計画・実施するに当たり「誰のため、何のための事業なのか」といった目的を明確にして取り組むべきではないか。

A 「未来の上越市民にどうやってつなげていくのか」ということが大切である。上越市の未来が見えるような事業にしていかなければならない。気運の醸成を含め、春日山から市内全域に広がっていくような仕組みをつくっていく。春日山城跡や周辺の整備もその理念のもとに進め、ソフトの教育事業等も含めた事業全体を、生誕500年の年に向けて進めていく。



通年観光計画の中で、観光拠点施設の整備が計画されています。



**ペットフレンドリーな
まち上越をめざして！
ストラットン恵美子（久比岐野）**



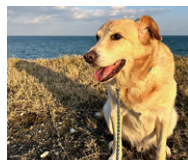
Q 「ペットツーリズム」を推進する考えは。

A 観光地域づくりの観点で研究していく。

Q 動物を取り巻く諸課題解決のため、環境基本計画に動物愛護に関する体制を記載しては。

A 次回改定時に検討する。

Q 廃校等を活用し、民間動物愛護団体も利用可能なスペースやペット避難所などを併設した動物保護管理センターを設置できないか。



A 施設を設置する考えはない。

Q クラウドファンディングを活用し、猫の不妊去勢手術費を助成する考えはないか。

A 市独自の助成制度は、多頭飼育等の発生状況を注視しつつ、必要性を含めて検討する。

人生100年時代の高齢者の生きがいづくり

Q 単身高齢者と血縁関係のない若者が共同生活を送る「異世代ホームシェア」導入の考えは。

A マッチングの難しさを含め、現時点では困難だが、世代間交流の取組などに意を用いていく。

Q 人とながり、まちを元気にすることを目的として島根県雲南市などで取り組まれている「コミュニティナース」を推進してはどうか。

A 生活支援コーディネーターを要として地域の関係者と連携を図り、地域支え合いに取り組んでいるため、新たに取り入れる考えはない。



**雁木町家の価値保全を
大島 美香（久比岐野）**



Q 雪国の知恵を象徴し、上越市の歴史文化を代表する雁木町家の価値について、市の見解と保存に向けた取組、今後の方針を聞きたい。

A 雁木町家が連坦する街並みは、江戸時代から受け継がれた歴史・文化資産であり、観光資源でもある。これまで雁木整備事業補助金で新築55件、修繕102件、段差解消12件を支援しており、旧今井染物屋や町家交流館高田小町は町の拠点として活用している。今後は、保全条例やリノベーション促進の検討も進めていく。

雁木町家の防火対策は

Q 令和6年に本町で3件の火災が発生したが、住民の安全を守るため、市と市民が一体となった防火・消防対策について、見解を聞きたい。

A 上越地域消防局と市消防団は、消防・避難訓練を実施し、住民43人が参加した。避難体制や延焼防止を再確認したが、高齢者など要支援者の迅速な避難が課題として明らかになった。防災訓練を重ねて地域消防力の向上を図りたい。

Q 住宅用火災警報器や連動型火災警報器に係る補助制度の創設について、考えを聞きたい。

A 住宅用の警報器設置率は94%で全国平均を上回っているが、連動型は設置が義務ではないため把握していない。現時点で補助制度は検討しておらず、防火・消防対策に注力していく。



**市長公約の現状は
こんどう 彰治（市民クラブ）**



Q 市長は、公約で子育て全国一を目指すとしているが、現状で全国一になっているのか。

A 公約は、市全体で目指す政策の方向性やありたい姿を示したもので、一定の基準や個々の事業の結果から一律に評価できるものではない。

Q 雁木の世界遺産登録を目指す」と発言したが、進捗状況はどうか。

A スローガンとして示したものである。市では、地域と協働で景観確保に取り組んできた。

Q 火事で焼失した雁木の再建はどうするのか。

A 雁木整備事業補助金の制度もあるが、地域の意向を確認して必要な支援を行う。

Q 副市長4人制と政策諮問委員について、任期中の達成を断念した理由は何か。

A 時間的な制約で困難と判断した。

中学校部活動の地域移行に係る課題は

Q 部活動指導員の配置状況はどうか。

A 専門性の高い指導を行い、大会の引率や監督も担当できる部活動指導員を、令和6年11月末現在で11校に18人配置している。

Q 平日も部活動が廃止される方向になった場合、地域クラブの指導者確保の見込みはどうか。

A 平日は仕事をしている方が多いため、休日よりも困難である。休日の進捗状況等を検証しながら、できることから取り組みたい。



**越後田舎体験事業で
交流人口拡大を！
石田 裕一（みらい）**



Q 「越後田舎体験事業」の事務局が、上越観光コンベンション協会となつて2年が経過する。この事業は、交流人口拡大も含め、重要な事業と考えるが、市の考えはどうか。

A 当市の農山漁村地域における「なりわい」の一つになり得る事業であると認識している。上越観光コンベンション協会の持つ多様なノウハウをいかし、インバウンド等の新たなニーズ発掘にも意を用いながら、受入れ人数の拡大に努める。また、上越観光コンベンション協会の組織強化を図らなければならないと考えている。



大島区嶺「農業体験」
神奈川県川崎市の中学生

郷人会の支援を

Q 「東京浦川原会」のような故郷上越を想う団体が、会員と役員の高齢化や減少等により解散を迫られている。郷人会の交流が続くように、市として何か支援できないか。

A 会員数の減少などの課題を抱える郷人会の現状等を鑑み、令和6年4月にふるさと応援室を設置し、首都圏での魅力発信やネットワークの強化に向けた取組を進めている。今後も各区の郷人会と連携を密にして、会の自主性を尊重しながら、組織運営をサポートする取組等について検討していく。



**企業誘致で地域経済の
活性化を
飯塚 義隆（久比岐野）**



Q 大潟工業団地における整備の進捗状況と、今後の需要見込みはどうか。

A 一部の地権者から理解を得られていないが、用地取得に向けて丁寧に説明を重ねていく。整備手法によって部分的な分譲が可能かを検討し、企業ニーズに添えていきたい。また、毎年約4haの分譲実績を踏まえると、大潟工業団地分譲後においても事業用地の不足が懸念され、新たな工業団地の需要は極めて高いと考えられる。

Q 黒井藤野新田線の沿線は、新規工業団地として最も潜在的な魅力が高い地区ではないか。

A 立地の優位性の観点から、交通の利便性に優れた場所であると認識している。



黒井藤野新田線 視察の様子

グラウンド・ゴルフ場の新設

Q 令和5年6月定例会の一般質問で、グラウンド・ゴルフ場の専用コートの新設を求めたところ、整備のあり方を検討するとしたが、その結果はどうか。

A 福祉交流プラザ広場が適したコートなのか、試行的に競技してきた。専用コートとして適地であれば令和7年度予算に反映し、整備を進めていきたい。



**103万円の壁撤廃の
効果と影響は
熊倉 隆将（市民クラブ）**



Q 減税により手取りが増える制度であると認識しており、この政策は評価すべきものと考えているが、一方で相応の税収減となることも指摘をされている。報道にあるように現行の103万円から178万円に引き上げられた場合、103万円の壁撤廃が当市にもたらす影響はどの程度か、地方交付税と住民税双方の観点から聞きたい。また、減収が子育て政策などの住民サービス低下につながることはないか。

A 地方交付税については、減収とならない仕組みが備わっており、直ちに地方自治体の税収減にはならない。住民税については、減収分の3/4は普通交付税で補填される仕組みとなっており、1/4に当たる7.5億10億円は減収となる見込みである。市長公約として掲げた子育て支援などの取組に影響が生じることのないよう、引き続き国の動向を注視していく。





5歳児健診の実施を！



高性能機械導入で 林業促進の支援を



上越市立水族博物館 うみがたりの施設改善



Q 子どものすこやかな成長と発達のため、「5歳児健診」を実施する考えはあるか。

A 現在行っている幼児期の支援に加え、新たに5歳児健診を実施することで、医師による診察のほか、栄養や子育て等の専門相談など、より一層きめ細かな対応が図られると考える。今後、医療機関等との調整や具体的な実施方法、実施後のフォローアップ体制の整備、就学時健診との連携など、調査研究を進めていきたい。



小児インフルエンザワクチン接種の助成を

Q 小児インフルエンザワクチンは、13歳未満までは2回接種しなければならないが、接種費用を助成する考えはないか。

A インフルエンザワクチンは、社会全体の流行を抑止するデータが十分でないことから、任意接種となっている。市では、他の任意接種と同様に、現時点では費用助成を行う考えはない。



深刻化する鳥獣被害 対策にどう取り組む？



若者への表彰 市の考えは



改正地方自治法 市の対応は



Q 令和6年4月、国はクマ類を新たに指定管理鳥獣に加えた。これにより市の被害防止対策はどう拡充され、その効果はどうか。

A この指定により、国から県に対して、捕獲や被害対策等に係る財政支援が手厚くなるなど、これまで以上の対策がとられるものと期待する。

Q 近年、全国でも街なかへのクマの出没があり、市民から不安の声も聞くが、安心安全のための対策はどうか。

A 現在、環境省のクマ類の出没に対応する体制構築事業に採択され、同省においてクマの生息状況調査と出没ルートの解明、生息域を示すゾーニングマップの作成などが行われている。市民への周知は、クマの生態や自身の身を守る手法を学ぶ学習会の開催、リーフレットの全戸配布などを行っている。また、令和6年10月には上越市大型獣出没対応研修会を実施し、市街地に出没した際の捕獲や周辺住民への周知、連携手法の確認・共有を行った。

Q クマ出没が多い地域の放任果樹などの除去について、補助金制度の検討を望むがどうか。

A 集落環境診断を実施し、町内会が農地や集落周辺の草刈り、放任果樹の果実の処分などに取り組んでいる。除去に対する補助は、他自治体での手法等を参考にしつつ、地域の意見を聴きながら研究していきたい。

医療的ケア児・者への給電ボランティアは

Q 人工呼吸器による呼吸管理など、医療的ケアを日常的に必要とする人たちが、災害や停電時においても医療機器が使用できるように、給電ボランティア活動を推進する考えはないか。

A 在宅で人工呼吸器を使用している人が、災害等の非常時においても電源を確保し、安心して生活できるよう、日常生活用具給付制度の品目に電源装置を追加し、活用いただいていることから、給電ボランティア活動を推進する考えは持ち合わせていない。



Q 当市の林業の持続的な発展に向け、伐倒・枝払い・玉切り・集積が可能な高性能機械導入への支援は効果的であると考えるがどうか。

A 当市の林業が産業として成長する上で、木材生産量の増加に資する取組は重要だが、作業従事者の不足などもあり、直ちに事業を拡大していくことが難しい状況にあると認識している。担い手の確保・育成のほか、間伐や作業道整備等の支援、林業の収益性の向上を目的とした木材需要の拡大など、必要な施策に取り組んでいる。

こどもプール廃止の背景と今後の活用は

Q 12か所のこどもプールを廃止する理由は。

A 老朽化が進み、令和5年度はピーク時の1割程度に利用者が減少したことなどから、関係者への聞き取りを行った結果、必要性の低下が確認されたため、廃止を決定した。



Q 跡地利用計画や、地域の意見の募集予定は。

A 地元からは、芝生広場の拡張や多様な世代が利用できる公園へのリニューアル等の要望が出ている。地域の声をもとに、令和7年度中に再整備の方向性を決定できるよう協議を進める。

民間委託学校給食調理員の賃金と人員体制は

Q 最低賃金引き上げに対する市の対応や、委託業者の運営に対する予算確保の状況はどうか。

A 委託業者の調理員の賃金は、各事業者が独自に定めており、市は関与しないため調査は行っていない。調理員の配置状況は、契約前に市の基準と照合・確認し、契約後も栄養士が巡回指導で適切性を確認している。業務委託は、3年間の長期契約を結んでおり、約8割が調理員の人件費だが、令和5年度に事業者から人件費高騰に対応する要望があり、令和6年度からは最低制限価格を設定した。契約期間中の変更契約は、事業者から相談があれば予算確保を含め検討したい。





**带状疱疹ワクチン
いよいよ定期接種へ**
滝沢 一成（無所属）



Q 定期接種を令和7年春から始めるとの報道もあるが、当市はどのように対応するのか。
A 国は令和7年4月から65歳を対象に定期接種を開始、65歳を超える人も接種できるよう5年間の経過措置を設けると承知している。上越医師会をはじめ、関係機関等と情報共有を図りながら体制の整備を進める。

農村公園の整備を

Q 市内の農村公園では遊具や砂場が使えないところもある。「子育て全国一を目指す」なら、子どもが遊ぶ公園が荒れてよいはずがない。
A 施設の定期点検等、適切な管理に努め、経過年数や利用状況を踏まえ、計画的な修繕や更新、撤去を行っていく。引き続き、安全を最優先とした管理に努め、施設のあり方を検討する。

春日山城を本来の姿、土の城に

Q 春日山城跡の整備は、本来の姿である「土の城」復元を徹底して行うべきではないか。
A 平成11年度から計画的に杉の伐採を進め、今では約100年前の古写真にみられる丘陵尾根に幾段にも区切られた曲輪や空堀を望める山容が仰ぎ見られるようになった。北は千貫門から南は南三の丸を結んだ範囲を目標に、杉の伐採など植生管理を進める。



若者の結婚・子育て・しごと等への考えは？
安田 佳世（久比岐野）



Q 令和6年度実施の「若者世代・子育て世代の市民アンケート」で、出産や子育てがしやすいと思う割合が前回から約30%減少して39・9%となっている。どう分析しているか。
A 前回調査時が子育て支援策の拡充時期で満足度が高かった。また、前回調査以降のコロナ感染拡大により、子育てに不安や負担を感じやすい時期が続いたことが要因と分析している。

アンケートから明らかになった現状は。

A 結婚を希望する人の割合が8割を下回り、出会いの場づくりや企業のワーク・ライフ・バランスの促進を求める声が多い。出産・子育てに関しては、理想とする子どもの数は減少傾向にあり、経済的負担や心理的・肉体的な負担感、仕事への影響が要因とする声が増えている。しごとに関しては、就労を希望する職種と現状のミスマッチや、職場環境や労働条件の改善に対するニーズの高さが明らかになった。

令和7年度予算編成方針は

Q 物価や人件費の高騰、財政調整基金の減少などの非常に厳しい財政状況の中、どのように事業の改善・見直し・廃止を行うか。
A 創意工夫により政策推進の原資を生み出し、限られた経営資源を効率的・効果的に活用し、歳入の確保と歳出の適正化に、より一層取り組む。



ガス事業の将来は
本城 文夫（市民クラブ）



Q 人口減少や電力需要の増加で、ガス販売量が低下している。大口需要拡大対策はどうか。
A 新たな企業進出や団地開発などの情報を、市長部局とも共有して取り組んでいる。

Q ガス料金の適正化や受益者負担の軽減、市独自の支援策の取組はどうか。
A ガス料金の改定は必要最低限の利益を確保するに留め、適正な水準となるよう努めている。また、国の補助金を活用して物価高対策の支援を実施するが、市独自の支援は考えていない。

Q ガス事業が民間に譲渡される懸念はないか。
A 内部留保資金が、第3次ガス事業中期経営計画の計画値を上回っていることから、現段階でガス事業の譲渡は考えていない。

水道基幹管路の耐震化は

Q 今後の水道基幹管路の耐震化はどうか。
A 更新時期を前倒しして、28・6kmの基幹管路の耐震化を予定している。

小中学校敷地の借地料の見直しを！

Q 契約更新時における地権者との協議はどのように進めているのか。
A 借地料が適正な水準となるよう見直し等を行っている。これまで実施してこなかった市有地との交換も含め、地権者と協議を進めたい。



**提言「未来創生スペシャ
ルセンター」の新設**
丸山 章（無所属）



Q 新上越市の誕生から、20年経過したが、この間、特に中山間地域の人口減少と少子高齢化は想定以上に進んでいるうえ、課題が一向に改善されていない。「空き家が増え、人も減って困る。我々の区を何とかしてほしい」との切実な声を聞くと、胸が締め付けられる。現状を打開すべく、総合事務所の抜本的見直しと同時に、まちづくり振興会等を統合し、地域振興を力強く推進できる新たな組織「未来創生スペシャルセンター」を、次の内容で13区に設立すべきと考えるがどうか。

【組織形態】NPO法人【設置場所】現総合事務所等【業務】地域振興等【人事体制】①まちづくり振興会等の会長を理事長に充て、職員はそのまま移管 ②市職員をセンター長とし5名程度出向させる ③区在住者の採用 ④アドバイザーを配置【財源】市の補助金・まちづくり振興会等の財産・ふるさと納税他【期待効果】地域ビジョンを策定したうえで、地域づくりに向けた価値ある投資や効果的な施策を実行できるなど、行政職員が積極的に地域づくりに関わる体制が整えられる。

A 地域自治推進プロジェクトで総合事務所、まちづくりセンターのあり方について整理し、必要な見直しを行うため、令和7年度から地域協議会や地域団体の意見を踏まえながら具体的な制度設計に入っていく予定である。その際、議員提案の考え方や手法について参考にしたい。



**103万円の壁撤廃
当市への影響は**
上野 公悦（日本共産党議員団）



Q 「103万円の壁撤廃」問題は、国民民主党と与党の政略が優先され、地方は置き去りにされている。当市の税収は大きな減収になるとのことだが、今後の施策推進や市民サービスにどのような影響が生じるか。

A 仮に個人市民税の非課税限度額が現行の年収103万円から178万円に引き上げられた場合、およそ30億から40億円程度の税収減となる。これに伴う普通交付税の増加を見込んでも、7・5億から10億円の減収になると試算しており、今後の施策や健全財政の維持をはじめ、市政運営全般に大きな影響を及ぼすと考えている。家計の負担が増す事態とならないよう、国において十分な配慮が必要だ。

現行の保険証の継続を求めよ

Q 現行の保険証は何の不便もない。マイナンバーカードに保険証を紐づけることはやめて、従来の保険証を継続するよう国に求めているかどうか。

A 当市のマイナ保険証の利用率は、令和6年9月末現在で国民健康保険では28・5%、後期高齢者医療制度では19・8%となっている。それぞれの全国平均16・5%、14・8%と比べても高い。国の施策であるため、一保険者として従来の保険証の継続を要望する考えはないが、引き続き、市民へ丁寧な説明を行っていく。



**市民交流スペースの
サービス向上を！**
高山 ゆう子（市民クラブ）



Q 令和6年9月末から、7つの公共施設のフリーWi-Fiが使えなくなった。特に市民プラザとミュゼ雪小町は利用者が多く、市民サービスの低下と考えるが、今後の整備予定は。
A 最近、格安プランの普及等もあり、一時的なネット検索では、ギガを大量消費しないことから、フリーWi-Fiを終了した。

Q 高校生がミュゼ雪小町で「高校生の居場所づくり」の実証実験を行い、1番目の要望が「Wi-Fiを使えるようにしてほしい」であった。現在、高校生の7割がスマホを使って勉強し、ミュゼ雪小町でも多数の学生が勉強している。オーレンプラザ同様にWi-Fiの整備を望むがどうか。
A 高校生の居場所支援について検討していく。



誰一人取り残されない学びの保障とは

Q ここ数年、様々なフリースクールが増えているが、不登校児童や生徒に関するフリースクール事業者との連携をどのように考えているか。

A 児童生徒の出席や成績評価について、ガイドラインの作成を進め、多様な学びを保障する。



妙高・斑尾エリア
リゾート開発の影響は
伊崎 博幸（無所属）



Q 開発の波紋が上越市に及ぶ可能性、特に市民生活や自然環境、景観に対する負の影響について考えを聞きたい。



A この度のリゾート開発の規模や、国内での他地域の事例を踏まえると、隣接する当市でも様々な分野への影響が想定される。計画の具体化が進む中で、市民生活や自然環境、更には地域経済における影響について、他地域の事例も含め、県及び隣接自治体とも情報を共有し、今後、法令等に基づく手続がある場合には適切に関与していくとともに、必要な備えを進めていく。

Q 外国人によるオーバーツーリズムが懸念されるが、特に日本人の国内観光への影響について、どのように配慮していく予定か。

A 地域住民のみならず、観光客自身の満足度にも影響を及ぼすオーバーツーリズムの視点にも留意しながら、全ての観光客から快適に過ごしていただけるよう、開発計画など様々な情報収集を行う中で、新潟県、隣接市等と共に必要な対応を確認していく。



労災、センター病院
整備のあり方は
宮越 馨（無所属）



Q 新潟労災病院は、閉院後に市が労働者健康安全機構から委譲を受け、民間の福祉施設や開業医などに貸し出してコワーキング（テナント）病院化し、地域医療福祉病院として残すべきである。知事にも伝えたが、市長の考えは。

A そうした考えも加味して、地域医療構想会議で検討できるように取り組んでいきたい。

Q 市が、上越地域医療センター病院の整備方針を突然変更し驚いているが、今後の方針はどうか。老朽化が著しく、ダンゴムシなどもひどい。ランバで退治すればいいと市長は言ったようだが、なぜ早く改築に着手すると言わないのか。

A 2年後には着手したいと考えている。

Q 不適切発言による名誉棄損で提訴されているが、何をもって争うとしているのか。

A 違法性の確認に係る訴えの却下と、損害賠償請求の棄却を求めることとしている。

Q これまでのトップセールスの成果は。

A 国会議員等への予算時期の陳情や、特産品の販路拡大、ふるさと納税のPR等を行った。

Q トップセールスとはそういうものでない。新幹線や火力発電所誘致、センター病院の委譲、ISO14001認証取得、小林古径邸の取得、加温式滑雪パイプ制度の導入などを言うのである。



柏崎刈羽原発
再稼働への姿勢は
平良木 哲也（日本共産党議員団）



Q UPZ自治体に事前了解権は必要であるとしつつ、他市町村に事前了解権を含む安全協定締結を呼びかけないのはなぜか。

A 事前了解権を主張すると原発反対派だと捉えられかねないが、私（市長）はそれではいけないと思っている。しかし、上越市民が確実に避難できる体制をとるには事前了解権は必要と思っている。

Q それは矛盾ではないか。原発や事前了解権をどう考え、どのように主体性を出すのか。

A 複合災害時の避難の課題解消が最優先と認識しており、事故の際に避難できるかどうか確立されていないので、今の段階で再稼働は時期尚早と考えている。国が、どこにどう避難するのかを示すことが責務だが、そこが達成されれば、40年以内の原発の再稼働は認めざるを得ない。

Q 非常に重要な答弁なので聞くが、市長には市民の安全を守る義務があるのではないか。

A 市民の安心安全が守られるための事業を今でも行っている。

Q では、避難をするという事態は安全なのか。事故が起こらないように、今、対策を徹底して進めているということである。

A 再度聞く。避難が必要な事態は安全なのか。国と電力会社に対して、できるだけ安全に事故が起こらないように対策をとってほしいと要求をするということだ。



原子力災害、屋内避難
計画見直し必要
橋爪 法一（日本共産党議員団）



Q 過酷事故を想定し、放射性プルームがどうか、最新の気象予報技術などで365日間のシミュレーションをすることが対策を練るときの基本だと考えるがどうか。

A それぞれの災害が最大限に起こった状態で対策を考えなければならないと思っている。原子力災害についても同様だ。

Q 元新潟県避難委員会の委員の方から、令和6年2月24日の気象条件で、放射性プルームが柏崎刈羽原発からどう流れるかのシミュレーションを見せてもらいたい。北風が吹いた場合、UPZ圏内の柿崎、吉川、大島などはほとんど通らず、UPZ圏外の板倉、清里、頸城、三和などを通る。こうなってくると、こういう事例が365日の中でどれくらいあるかが重要だ。



A 原子力防災に限らず、新しい事象があれば、すぐさま対応しなければならない。新たなプルームの広がりが出るのであれば、その知見を得て、避難計画の見直しにも取り組まなければならない。

03 小中学生の議会学習



議会や議員の仕事を知ってもらうため、小学5・6年生と中学生を対象に議会学習を実施しています。

06 議場コンサート



試行的に実施しましたが、会期中は受入体制の確保が困難と判断しました。

02 議会報告会・意見交換会



議会の内容を報告するための議会報告会や、市民意見を市政に反映するための意見交換会を開催しています。

05 議員と気軽にトーク



気軽に参加できる意見交換の形が多く参加者から好評だったため、本格実施に移行しました。

01 議会だより



今回の議会だよりはいかがですか？今お読みいただいている議会だよりは、私たち広報広聴委員会が作成しています！

04 ホームページなど



ホームページやYouTube、SNSなどで議会の情報を発信しています。

市民と議会をつなぐ 私たち、広報広聴委員会です！

議会を傍聴しませんか

だれでも自由に
見たり、聴いたりできるんです



令和7年3月定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
					2/28 本会議（総括質疑）	3/1
2	3 本会議（総括質疑）	4 農政建設常任委員会	5 農政建設常任委員会	6 文教経済常任委員会	7 文教経済常任委員会	8
9	10 厚生常任委員会	11 厚生常任委員会	12 総務常任委員会	13 総務常任委員会	14	15
16	17 本会議（一般質問）	18 本会議（一般質問）	19 本会議（一般質問）	20 春分の日	21 本会議（一般質問）	22
23	24	25 本会議（採決）	26	27	28	29

議場に行って傍聴する

●本会議の受付

市役所 6 階傍聴席前で、
傍聴受付票に記入してから入室する。

●各委員会の受付

市役所 5 階委員会室で、
入室してから傍聴受付票に記入する。

ライブ配信・録画を見る

●本会議の配信

専用サイトでライブ配信と
過去の動画を配信しています。



●各委員会の配信

YouTubeでライブ配信と
過去の動画を配信しています。



編集後記

新しい年が始まりました。
昨年は、コワーキングスペース
b i b i t や上越教育大学で議
員と気軽にトークを開催し、様々
な世代の方からご意見や思いを
聴きました。皆様の声が市政を
動かす力となり、上越市の更な
る発展につながると確信してい
ます。議会だよりかけはしが、
市民と議会をつなぐ架け橋とな
るよう、工夫を重ねながら情報
を発信してまいります。

降旗太地

広報広聴委員会

委員長 ストラットン恵美子

副委員長 櫻庭 節子

委員 降旗 太地

西沢 智子

山本 佳洋

関川 信之

小林 和孝

上野 公悦

渡邊 隆